



今月は
不知火と松橋の昔ばなし

後世に残そう。
地域に伝わる
おとぎ話の世界。

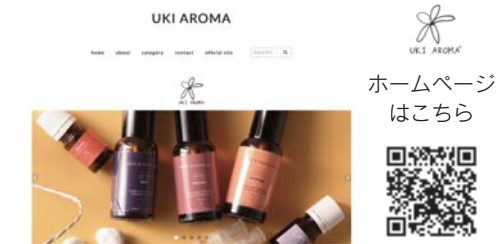
不知火伝説

景行天皇が王権に背いた南九州の熊襲征伐を遂げ、都に戻られたときのお話。天皇は日奈久辺りから船出され、宇土半島を目指していらつしました。すると航行中に日が暮れはじめ、次第に闇夜に包まれる八代海。船頭は行き先が分からなくなっていると、突然はるか前方に現れた火の光。天皇の命により光の方へ船を進ませると、無事に岸へとたどり着いたそう。天皇が里人に「何という村か」と尋ねられると、「八代県豊村(豊福)です」と、また火のことを問われると「その火の主は知りません」と答えました。天皇はこの地を「火の国」、その火を「不知火」と名付けられたとき。

イラスト／村上明日香
(不知火美術館学芸員)

うきもよう

市内の“あれこれ”をご紹介します



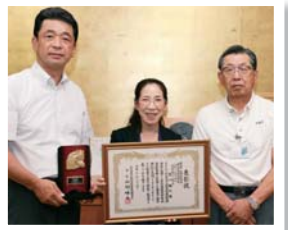
今月は
地域おこし協力隊
宮川 瑞代がお届け
します

山村会長
から授与



優良商品奨励賞を受賞しました

昨年、宇城市産の柑橘で作る精油ブランド「UKI AROMA」を立ち上げました。その商品が熊本県物産振興協会(山村唯夫会長)の優良賞品奨励賞を受賞。8月4日、熊本市の鶴屋百貨店で表彰式が開かれ、同百貨店で開催された「くまもとの特産品まつり」で販売。香りに好評を得ました。現在、新商品も開発中です。



市長室にて

見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

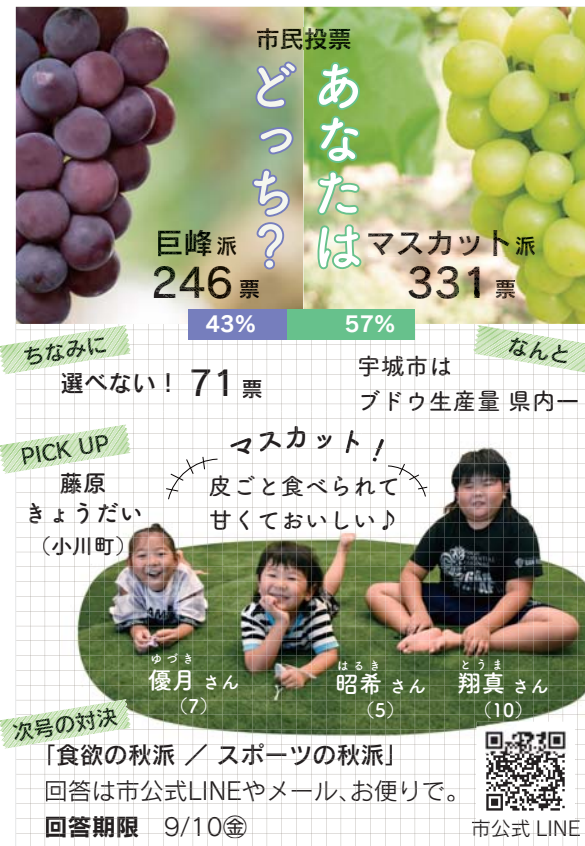
広報特派員や
地域おこし協力隊が
市内で起きた出来事を
伝えます。

あき家対策 おうちくん・バンクくん・わたしの

まちがいさがし



7つのまちがいをみつけてね。答えは35ページ。



日々、自然に豊かに丁寧
海に囲まれ、自然と呼応する
atelier olge。柔らかな木漏れ日に包まれ、ゆつくり流れる時の中で制作するのは作家の安田渚さん。戸馳島で一点物のアクセサリーや体に優しい自然派おやつを作っている。ここでは、作品が生まれる過程を間近に見ることができ、安田さんの温かいもてなしと弾む

おしゃべりはまるで旧友宅を尋ねているかのよう。
「多忙な生活や熊本地震を経験したことで豊かな暮らしを考えるようになりました。今は少しずつ方向転換。自然に寄り添い、好きな絵を楽しむ時間を大切にしながら、お客さまに喜んでもらえるもの、体にいいものを届けていきたいですね。」と、安田さん。ここには日々を丁寧に生きるヒントが詰まっている。



アトリエ オルゲ
atelier olge
三角町
戸馳6921-2
☎13時～17時

1 一つ一つ丁寧に手描き
2 色はその場の感覚で
3 人参と米粉の甘さが優しいドーナツ
4 愛らしい作品が並ぶ

てくてくさんぽ
手しごとさんぽ

ものづくりをする手から生まれる作品は暮らしを心豊かに彩る。そんな命を吹き込む手仕事を紹介します。